

## 【一 般 常 識】

- 問1 エコドライブとは、駐車中にエンジンを停止するアイドリングストップや急発進・急加速を避けた等速運転などを心がけた省エネルギー運転のことで、エコドライブは単にエネルギー消費の節減や経済メリットを追求するだけでなく、排出ガスの抑制、交通事故防止、経営コスト削減などの効果が期待できる。
- 問2 1時間のアイドリングで消費する燃料は、大型車で1.0リットル～1.5リットル、中型車で0.7リットル～0.8リットルになると言われている。
- 問3 事業者は、点呼時に酒気帯びの有無を確認する場合には、運転者の状態を目視等で確認することとなっているが、営業所に備えられているアルコール検知器が故障して使用できない場合は、点呼執行者の目視による酒気帯びの有無の確認を受ければ乗務することができる。
- 問4 事業者には健康診断を実施する義務があるが、健康診断を受けるかどうかは労働者の自由である。
- 問5 常時使用する労働者に対して、医師、保健師等による心理的な負担の程度を把握するための検査(ストレスチェック)結果は、検査を実施した医師、保健師等から直接本人に通知され、本人の同意なく事業者には提供することは禁止されている。
- 問6 睡眠時無呼吸症候群になると、睡眠時の呼吸停止と再開が繰り返されるために血圧が低下し、血液も固まりやすくなることから、高血圧、糖尿病、狭心症、心筋梗塞、脳卒中など重大な合併症を引き起こすリスクが高まる。
- 問7 運輸安全マネジメントとは、安全最優先の意識を経営トップから現場の運転者まで浸透させるため、定められた手順、すなわち「Plan(計画)」、「Do(実施)」、「Check(監視)」、「Act(改善)」を継続的に繰り返すことによって、輸送の安全のレベルアップを図ろうとするものである。
- 問8 トラックステーションは、自家用トラックドライバーのための施設であり、休憩、仮眠、宿泊、入浴、食事などのほか、業務上の連絡に誰でも利用できる。
- 問9 不正軽油とは、軽油に灯油やA重油等を不正に混ぜて、軽油と称して流通しているもので、これらの行為は、軽油取引税の脱税にとどまらず、環境汚染の原因にもなっている。
- 問10



「安全性優良事業所」認定の対象となるのは事業所単位ではなく、会社単位となっており、認定期間は2年間である。


## 【運 転 常 識】

問11 車両等の運転者が車両等を離れるときは、エンジンをとめ、完全にブレーキをかけるなど、その車両等が停止状態を保つために必要な措置を講じなければならない。

問12 後方の状況を確認するためにシートベルトをはずして後退すれば、その後シートベルトを再装着して前進しても、シートベルト装着義務違反となる。

問13 荷物の積み卸しで運転者がすぐに運転できるときは、車の右側の道路上に3.5メートル以上の余地がなくても駐車できる。

問14 酒気帯び運転とは、呼気1リットル中0.15ミリグラム以上、又は血液1ミリリットル中0.3ミリグラム以上のアルコールを体内に保有している状態で車両を運転した場合をいい、呼気1リットルにつき0.15ミリグラム未満の場合は、基準以下なので違反とはならない。

問15  この標識のある場所では、道路を横断して右側にある施設に出入りすることは法令違反になるので、迂回してその施設へ出入りしなければならない。

問16 車の運転者は、児童、園児などが乗り降りするために止まっている通学、通園バスのそばを通行するときは、徐行して安全を確かめれば一時停止する必要はない。

問17 進路前方の横断歩道を横断、又は横断しようとする歩行者がいるときは、横断歩道の手前で一時停止しなければならないが、横断する歩行者がいないことが明らかな場合は、減速せずに通行できる。

問18 車間距離を必要以上に詰めて挑発したりするいわゆる「あおり運転」が社会問題化しているが、相手車を強制的に停車させて運転者等に暴行を加えたり、相手車を傷つけたりした場合は、刑法の暴行罪や器物損壊罪等で処罰できるが、道路交通法には、あおり運転を直接取り締まる罰則規定はない。

問19 車両等に積載している物が道路に転落し、又は飛散したときは、必ず道路管理者に通報しなければならないが、当該道路管理者からの指示があるまでは、転落し、又は飛散した物を勝手に除去してはならない。

問20 自動車を運転中に携帯電話でメール送信するため、メール画像を注視することは道路交通法で禁止されているが、車内に取り付けられたカーナビゲーションの画像を注視することについては、禁止されていない。

## 【車 両 常 識】

問21 エンジンオイルは粘度が高いほど燃費が良くなり、粘度が低いほど悪くなる。

問22 エア・クリーナが目詰まりすると燃費が悪くなり、黒煙の量が増加する。

問23 自動車は排気騒音やタイヤ騒音などの走行騒音を出すほか、道路周辺に振動を与えるが、自動車の出す騒音や振動は、自動車の速度が遅いほど、また自動車の重量が軽いほど大きくなる。

問24 停止表示器材は、夜間100メートルの距離から前照灯で照射した場合に反射光を確認できなければならない。

問25 自動車の空気入ゴムタイヤに関し、接地部の滑り止めの溝は、タイヤの接地部の全幅のいずれの部分（ラグ型タイヤの一部部分を除く。）においても1.6ミリメートル以上の深さがなければならない。

問26 貨物運送の用に供する自動車の車体の後面には、最大積載量と車両重量を表示しなければならない。

問27 遠心力の大きさは、カーブの半径が小さいほど大きくなり、速度が2倍になれば遠心力は2倍となる。

問28 スピードリミッターとは、アクセルを踏んでも時速100km以上は出せなくする速度抑制装置のことであり、速度が時速100kmを超えると自動的にエンジンへの燃料供給が抑制され、それ以上加速できない仕組みとなっている。

問29 車両安定性制御装置とは、走行中の自動車の急なハンドル操作や滑りやすい路面の走行などを原因とした横滑りの状況に応じて、エンジン出力やブレーキ力を制御し、横滑りや転覆を防止するための装置のことをいう。

問30 走行中にアクセルペダルから足をはなすと、エンジンの回転がおそくなり、逆に、車輪がエンジンをまわそうとする状態になる。このときエンジンは摩擦や圧縮の抵抗により車輪を制動する働きをする。これをエンジンブレーキという。